

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年9月18日

【評価実施概要】

事業所番号	0991400029		
法人名	社会福祉法人蓬愛会		
事業所名	城下庵		
所在地	栃木県さくら市喜連川3609 (電話) 028-686-2941		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成21年8月13日	評価確定日	平成21年9月18日

【情報提供票より】(平成21年7月24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成19年6月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤5人(うち兼務5人), 非常勤2人, 常勤換算6人	

(2) 建物概要

建物構造	木造
	1階建ての1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	34,500 円	その他の経費(月額)	<ul style="list-style-type: none"> ・光熱水費—600円/1日 ・寝具—50円/1日 ・日用品—70円/1日 ・理美容代、おむつ代—実費
敷金	有(100,000円)		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	—
食材料費	朝食	250 円	昼食 450 円
	夕食	350 円	おやつ 150 円
	または1日当たり		円

(4) 利用者の概要(平成21年7月24日現在)

利用者人数	9 名	男性	3 名	女性	6 名
要介護1	1 名	要介護2	2 名		
要介護3	4 名	要介護4	2 名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84.6 歳	最低	79 歳	最高	89 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	矢板南病院、野沢歯科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>商店街や市役所、温泉地の近距離に位置した所にホームがあり、食材の買い物も歩いて行ける距離にある。建物内部は古民家風の造りになっており、共用空間が広く、ソファ、畳スペース、ウッドデッキ等思い思いの場所で過ごせるようになっている。入居者も合築されている小規模多機能型居宅介護事業所の通路を歩き来するなどして、馴染みの関係づくりをしている。「いつもの笑顔でやさしさにふれあう」のホーム理念のもと、職員は明るく、利用者の視点に立って柔軟な支援に努めている。</p>

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の外部評価を受ける準備には、運営者、管理者、職員が一体となって進めてきたことで、基本理念の実践に結びつけるための取り組みが確実に進められてきた。今後より一層、職員が取り組むべき課題の共通認識を持ちながら質の向上をめざしている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>① 今回の自己評価は年間計画を作成して評価の意義・目的・サービスの見直し等を職員間で話し合い、管理者がまとめた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議には、自治会代表・民生委員・市職員・地域包括支援センター職員・入居者家族代表に参加してもらっている。ホームの活動状況、行事、現状の課題・問題点等についての報告を行い、意見を出してもらっている。また、災害時に近隣地域住民からの協力態勢の構築など関係づくりに努めている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の訪問の際に暮らしぶりや健康状態を伝えている。手紙や電話等でその都度状況に応じて報告も行っている。重要事項説明書に苦情相談窓口を明記したり意見箱を設置している他、要望等を出しやすいよう、家族との関係づくりを重視している。家族から意見や要望が出た時はその都度、内部で検討のうえ対応している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に加入し、回覧版を廻したり、運営推進会議に自治会代表者、民生委員にも参画してもらっている。日常の散歩や買い物での挨拶等を通して近隣住民との関係を深めたり、掲示板の所に椅子を置き、いつでも立ち寄りいただけるよう地域とホームの双方においての関係づくりに配慮している。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念（今日一日一日を楽しく、安らぎのある毎日）を念頭に、ホーム独自の理念（ゆとりがあり楽しみがもてる）を職員との話し合いのなかでつくりあげ、意識の統一を図っている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員や管理者は日々の申し送り時や実践のなかで、体験的に理念を浸透させることを大切にしている。また、理念について掲示板や玄関入口に掲示して、家族、地域、見学者等に理念について解かりやすく説明をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入し、回覧版を廻したり、運営推進会議に地域代表者、民生委員の方々に参画してもらっている。日常の散歩や買い物での挨拶等を通して関係を深めたり、掲示板の所に椅子を置き、いつでも立ち寄っていただけるよう地域とホームの双方において関係づくりに配慮している。	○	更に地域活動や地域の人々との関係づくりを積極的に行っていくため、同法人との連携を図りながら、認知症診療に習熟した地元のドクター等による認知症についての講演会や認知症サポーター養成講座を行うなどして、地域住民へのホームの理解と位置づけを高めていくことに期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者、職員は外部評価、自己評価の意義や目的を理解し、年間計画を作成している。評価による過程を通して、質の向上の見直しや自己研鑽を重ねながら、共通認識を持ち実践につなげている。今回の外部評価は、職員と相談のうえ、管理者がまとめた。		

グループホーム城下庵

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>自治会代表、民生委員、利用者家族代表、市職員、地域包括センターの職員に参加してもらっている。ホームの活動状況、行事、現状の課題・問題点等についての報告を行い、意見を出してもらっている。</p>	○	<p>事業所側からの報告とともに、参加メンバーからより多く質問、意見、要望を出してもらい、双方向的な会議になるよう、課題等を提示していくことに期待したい。</p>
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所の運営状況や現場の実情等を積極的に伝える機会を設け、課題等の解決に向けた協働関係を構築し連携を図っている。</p>		
<p>4. 理念を実践するための体制</p>					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>家族の来訪時には、入居者の健康状態や日頃の暮らしぶりを報告している。また、手紙や電話等でその都度状況に応じて報告を行っている。金銭管理については、預かり金の管理は行っていない。</p>		
8	15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に苦情相談窓口を明記したり意見箱を設置している他、要望等を出しやすいよう、家族との関係づくりを重視している。家族から意見や要望が出た時はその都度、内部で検討のうえ対応している。家族から職員の名前を知るため、名札明記についての声があったが、検討中である。</p>	○	<p>家族の意見や要望及び苦情等を受け止め、前向きに活かせる姿勢や体制は構築されているが、家族間の連携やさらに意見等を出しやすい環境作りのため、家族会等を設けることを期待したい。</p>
9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の異動や離職については、引継ぎ期間を十分に取り、馴染みの関係づくりを大切にしながらスムーズに移行出来るよう配慮している。</p>		

グループホーム城下庵

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症介護実践者研修、リーダー研修等への参加を積極的に行っている。また、事業所において新任、現任の段階的レベルに合わせた研修を行い、ケアの向上を図っている。事業所内の研修も月1回行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県の老人福祉施設協議会やグループホーム協会に加入している。当市内のケアマネジャー連絡協議会にも加入し、情報交換を行っている。管理者は、他事業所の運営推進会議に参加するなど、同業者とのネットワークの構築や質の向上に積極的に取り組んでいる。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居に至るまでに職員が自宅に訪問したり、本人や家族の方にグループホームでの生活状況を見てもうようにしている。馴染みの関係を構築するうえで、隣接する小規模多機能型居宅介護事業所を利用したりしながらスムーズに移行できるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	本人の出来ることに配慮しながら、調理や畑作業、生活文化等を入居者から教えてもらうことも多くあり、日々の生活での役割を共に過ごし、学び、支え合う関係を築いている。		

グループホーム城下庵

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いや意向について関心を払い把握している。言葉や言葉にしづらい思いを日々の行動や表情からくみ取り、本人の視点に立って、その人らしい生活が出来るよう支援をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居前の面接に時間をかけて情報収集に努め、個人記録や申し送り等にて、日々の変化に対応しながら入居者主体の暮らしを反映したケアプランを作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	6ヶ月の定期的な見直しのほか、状態の変化等があった場合などには、家族とも相談しながら随時見直しをしている。職員は、日々の様子を個別に記録し、介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	小規模多機能型居宅介護事業所との合築であることを活かし、医療面からも専門的な支援が受けられるように配慮しながら、可能な限りサークル活動への参加等柔軟な支援に努めている。		

グループホーム城下庵


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時にかかりつけ医を確認している。可能な限り家族の協力を得ながら、必要に応じて適切な医療が受けられるよう配慮している。今後、地域との連携のもとで地域診療所の医療が受けられるよう検討している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人、家族の意向を確認して、本人にとってどうあったら良いのか、事業所が対応しうる最大の支援方法を検討しながらコミュニケーションをとっている。一部家族の意見としては、状況に応じては特別養護老人ホームとの声もある。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	日々の生活の中で入居者の表情や言葉、仕草等を観察し、プライバシーに配慮した支援に努めている。記録等の個人情報においても、事務所内で適切に保管されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者が主体となってその人らしい生活が出来るよう一人ひとりの望んでいるペースを守り、日々の生活の中で職員同士工夫をしながら希望にそって支援している。		

グループホーム城下庵

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	同法人の管理栄養士と職員が栄養バランスを相談しながら、入居者一人ひとりの嗜好を把握して職員と入居者が一緒に献立づくりを行っている。職員も入居者と一緒に食卓を囲み会話を楽しみながら同じものを食べていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴の支援をしている。夜間も入浴は可能であり、毎日入浴をしている方もいる。季節に応じて菖蒲湯やゆず湯等を行っていたり、小規模多機能型居宅介護事業所には最新の浴槽があり、介護度が高くなっても安心して家庭的な浴槽で入浴を楽しめる設備的な配慮もされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日々の生活が楽しみや張り合いのあるものになるよう、潜在している記憶や力を引き出しながら支援している。散歩・習字・踊り・野菜づくり等を日常生活の中に取り入れながら、活躍の場を多く作った支援に努めている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	季節に応じて花見・遠足等の外出を行っている他、入居者の馴染みの場所へ出かけたりしており、気晴らしや生活の張りにつながっている。イベントとして秋に家族・入居者とのドライブを企画している。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関には施錠せず誰もが出入りしやすい環境を整えている。常に動きが活発な方や状態確認が必要な方は職員の気配りのもとにて支援をしている。		

グループホーム城下庵

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害対策マニュアルを作成して月1回事業所の夜間帯を想定して避難訓練を行っている。また、今年10月頃に消防署との訓練も想定している。火災発生時には、地域の方々との協力態勢も出来ており、連絡網もある。食料品や水等の備蓄も確保されている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	入居者の嗜好や病状を考慮し、同法人の管理栄養士と相談しながら2週間分の献立をたてている。食事や水分の摂取量に注意しながら適切な栄養・水分の確保が提供できるよう支援している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	建物全体が和風の古民家風作りで、平屋作りの落ち着いた雰囲気である。共用スペース部分には、ソファが置かれたり、畳スペースがある等入居者が思い思いの場所で過ごせる環境づくりがされている。音や光などにも適切に配慮されていて、空気のとどみ等もない。また、季節に応じて花を飾ったりして、ゆったりと居心地よく過ごせる工夫がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた馴染みも物を置くなどして個人個人の個性が漂っている。また、仏壇を置いたり着慣れた着物等を大切にするなどして、生活空間や居室を従来の延長線として上手に工夫している。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。